

第3回 ジェンダー主流化委員会 開催

10月6日(月)第3回ジェンダー主流化委員会を開催し、男性育休取得推進についての追加要望と下期活動計画について議論を行いました。



25年度活動進捗報告

【活動進捗報告】

目的別分科会成果の伸展と調査研究に注力

- ・「第六次男女共同参画基本計画」の基本的な考え方へのパブリックコメント発出
- ・企業の好事例調査(イケア・ジャパン株式会社)

【男性育休取得推進についての追加要望内容について】

- ・分科会参加者から出た要望を5つの分野において整理し、要望へまとめる
- ・「制度改善」「企業・社会への働きかけ」、「個人・家庭への支援」の大きく3点で整理
- ・さらに関係諸官庁への意見交換を併用し、より強い意見表明を実施

【下期活動計画】

- ・開催予定「本音の座談会」「好事例企業勉強会」「アンコンシャスバイアス勉強会」の企画提案

【出席者からのご意見】(一部抜粋)

■男性育休取得推進への追加要望■

- ・男性育休の課題は特に「上司の理解」が多かった。男性育休のメリットを国から示してほしい。
- ・育休取得日数の努力目標政府が示してほしい。
- ・収入、所得にも課題がある。一企業での対応は難しいが、男性育休の場合1～2週間は有休対応などあれば、男性も非常に取りやすくなるのではないか。

■下期活動計画■

- ・他業界、バイヤーの本音が聞きたい。商売において、サービスレベルなど企業の差別化のポイントでもある。男性育休取得がどこまで影響するのか知りたい。
- ・なかなか聞けないことなので、生団連がそういう機会を設けてくれることはありがたい。
- ・失敗事例も共有してほしい。挑戦して、失敗したことも各社あると思うのでそこから学べることもある。

【事務局所感】

男性育休取得推進を更に加速させるため、追加要望と調査を基に関係諸官庁への意見交換を実施して参ります。2025年度下期計画は、ご要望や意見を反映し、着実に実行してまいりますので、引き続きご参画をお願い申し上げます。